

校舎は、漫画「ハイキュー!!」の聖地としても話題になっています

軽米高校創立70周年記念式典
平成30年10月20日(土)

特集 Special feature

軽米高校だから、できること

70年を超える伝統を誇り、地域に愛されてきた軽米高校。少子化などで生徒数は減少していますが、軽米高校だからこそできることもあります。今回は、そんな軽高の魅力をたっぷりお届けします。

創立70年を超える伝統校

岩手県立軽米高等学校は、昭和23年に開校し、昨年創立70周年を迎えました。

校訓「明るく、強く、逞しく」、校是「風雪に耐え大いなる未来を拓かん」の下、町内唯一の高校として地域に愛されながら、これまで8622人の卒業生を輩出してきました。

また、「時間の厳守」「挨拶の励行」とともに軽高三本柱として受け継がれている「掃除の徹底」は、軽米高校特有の生活信条。毎年清掃コンクールを開いて清潔な学習環境を作るなど、清掃を通して豊かな心身の形成に取り組んできました。

平成13年からは、県内初の連携型中高一貫教育を導入。



昨年10月に開催された創立70周年記念式典



体育館に掲げられている校是は長年輕高生を支えてきました

授業や部活動などで、町内の中学校との連携を進め、生徒の個性や創造性を伸ばす教育を展開してきました。

その取り組みが実った成果もあり、学業では、おとし、東京大学現役合格者を輩出。部活動でも、近年陸上部や卓球部が東北大会出場を果たすなど、確かな実力をつけています。

個別指導が強み

軽米高校で学ぶ最大の利点は、先生が生徒一人一人に合った個別指導をしてくれることです。先生は授業での指導だけではなく、授業以外にも勉強や卒業後の進路などを、幅広い視点からサポートしてくれます。そのような一人一人に寄り添った指導は、人数の多い学校ではなかなか

軽米高校に通学するうえでの補助制度

1 通学費



通学距離4km以上の生徒を対象に、バス通学費を補助。1人につき月2万円を上限に全額を助成。

2 下宿費



町外から入学し、通学のために下宿が必要な生徒に対し助成。補助額は月3万円。(親戚宅への居住は半額)

3 給食費



栄養管理の支援や保護者の負担軽減のため、副食給食を提供。1食180円のうち半額の90円を助成。

4 アイスホッケー



来年度から、アイスホッケー競技活動用部品や練習場使用料などの助成を予定しています。

5 海外派遣費



一戸町と合同で毎年行っている、アメリカ派遣の生徒の旅費を補助しています。

6 教育振興会



教育振興会は、「中高連携事業」「図書購入」「英検・漢検費用」「部活動支援」などの助成を行っています。

地域で高校を応援!!

軽米高校を応援する会



軽米高校を応援する会(玉館誠会長)は、軽米高校の存続・発展のために活動を行っています。軽米高校同窓会や軽米町PTA連合会などが発起人となり結成されました。同会が作成した軽米高校を応援する横断幕は、地域全体で高校を応援しようという意識高揚につながっています。

平成30年度の進学就職状況

進学 左=進学実数 右=合格延数

進学先	進学実数	合格延数
国公立大学	7	7
私立大学	4	8
国公立短期大学	2	4
私立短期大学	2	3
医療系専門学校	1	3
専門学校(除医療系)	14	15
計	30	40

進路実現率は100%を達成

就職

就職先	就職実数
管内	5
県内	0
県外	8
計	13

公務員

就職先	管内定数	県内定数	県外定数
管内	0	1	
県内	1	2	
県外	2	2	
計	3	5	

左=就職実数 右=内定延数

通学費や下宿費などに対するさまざまな補助制度が用意されているのも魅力の一つ。軽米高校に通えば、通学にかかる時間やお金がお金他のことに使え、自分のやりたいことに集中して取り組むことができます。

好きなことに専念できる

難しいものです。また、他の学校では公務員対策などを行う際、独学で勉強しなければならぬ学校がほとんど。軽米高校では、そのような対策にも先生がしっかりと対応し、合格や内定までサポートしてくれます。

現役の軽高生にインタビュー

過ごしやすく
先生方との距離も近い

進学希望



上山 ^{れいか}礼香 さん (3年)

高校では陸上の長距離走を頑張り、体力や技術、精神面で自分を成長させることができました。学校生活では、中学校の時から一緒に友だちが多かったので、過ごしやすかったです。先生方との距離が近く、優しく面白い先生ばかりでした。

私は今、推薦入試での大学進学を目指して勉強しています。志望理由書の文章の記入や校正と、小論文の過去問を解いて対策しています。先生方は分からないことを聞きにいくと、丁寧に教えてくれました。大学では夢である看護師を目指して勉強し、医療従事者が減ってきている医療業界に貢献したいです。

自分に合った
指導をしてくれる

就職希望



若山 ^{いっせい}一星 さん (3年)

軽米高校は少人数なので、先生方が自分に合った指導をしてくれます。1つの授業に複数人の先生が入ることもあり、聞きたいことを聞きやすい環境でした。部活動の指導が手厚いのもありがたかったです。

高校では、応援団の活動に力を入れました。3校合同での野球応援では全体の団長を務め、大変でしたが良い経験になったと思います。

現在は、鉄道会社への就職を目指しています。先生や外部の進路指導員の方と面接の練習をして、対策しています。将来は、憧れの車掌になって、最終的には運転手になれるように頑張りたいです。

最大の魅力

軽米高校の教育
生徒に寄り添う
個別指導



2 一日総合大学



3年前に始まった大学教師等が授業を行う「一日総合大学」。全生徒が複数の講座から希望する講座を選び、1日かけて大学での学びを体験できます。この取り組みは、生徒が進路選択するうえでの大きな参考になっています。

3 資格取得

軽米高校では、以下のような資格を取得することができます。(一例)

◆実用英語技能検定◆実用数学技能検定◆日本漢字能力検定◆珠算・電卓実務検定◆簿記実務検定◆ビジネス文書実務検定◆情報処理検定◆商業経済検定◆家庭科食物調理技術検定◆家庭科保育技術検定◆危険物取扱者

東京大学現役合格者が語る魅力

私は、大学で外国語や国内外の文化を学びたいと思い、最初は東北大学への進学を希望していました。1年生の時の模試が終わった後に、先生に東京大学を勧められて、東大への受験を決めました。

高校ではサッカーをやっていたので、部活動をしている時はなかなか勉強の時間が取れませんでした。部活動が終わってからは、1日6時間ほど勉強

していたと思います。進路相談を含め、勉強は先生が親身になって教えてくれるのでとても良かったです。そこが軽高の良さだと思います。

これからは目標である公務員になって、地域に貢献できるように頑張っていきます。軽米高校の在校生や入学を希望している人には、自分の目標に向かってあきらめず、地道にがんばってほしいです。



軽米高校平成29年度卒

賈井坂 怜矢 さん

東京大学 教養学部 2年(上館)

軽高に入学して良かったと感じられるサポートを



軽米高校 進路指導課
石村 隆彦 先生

日々生徒たちは、各自の進路目標達成に向けて懸命に努力しています。本校生徒の進路希望は一般就職、公務員、専門学校、短大・四年制大学などと多岐にわたります。そのため、私たち教員は生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな指導を行っています。

具体的には就職希望者には、外部講師を招いての就職ガイダンスや合同企業説明会への参加、インターンシップの実施などを行い、公務員志望者には、外部講師による公務員ガイダンス、公

務員模試、一般教養や適性試験対策などを行っています。短大・四年制大学希望者には、複数の大学の教授を招いての「一日総合大学」や1年次の弘前大学オープンキャンパス参加、模擬試験・平常課外などの実施を通じて進路実現を図っています。

生徒が卒業時に「軽高に入学して良かった」と心から感じて卒業できるようサポートし、また、地域社会の大切な人材を預かっているのだという自覚を持ちながら指導しています。

進路実現のための取り組み



公務員対策は、主に放課後の時間に行われます

1 公務員対策

軽米高校では一般企業への就職だけではなく、公務員就職できる環境が整備されています。対策は2年生の秋からスタート。希望者の自主学習をメインに、分からない部分は先生が解説します。また、模試や専門学校の講座への参加を積極的に行い、力をつけていきます。一次試験終了後には、二次試験対策として、先生が面接の練習や作文の添削を行うなど、合格までサポートしていきます。



近

年、軽米高校は大きな課題に直面しています。最大時600人を超えていた生徒数は、年々減少して現在135人。1学年最大5クラスあった学級も2クラスとなっていて、このまま生徒数が減少すれば、学校存続も危ぶまれる状況です。

し

かし、紹介してきたように、規模が小さくなって軽米高校の持つ魅力が減ったわけではなく、むしろ少人数になったことで、他の高校にはない良さも生まれています。

少

人数だからこそ生徒一人一人に先生方が寄り添い、日々の生活や進路実現をサポートしてくれます。先生が生徒の意見を尊重しながら進路を一緒に考えてくれるため、卒業生の進路はとて幅広いのが軽米高

軽米高校は、一人一人が輝ける場所。

校の特徴です。

ま

た、学校行事や部活動では、一人一人に任せられる役割が大きく異なります。他人任せにすることはできないため、自分の力で考え、自ら動く能力が養われます。さまざまな行事を通して、主体的に行動できる、生徒全員が主役となって輝ける学校でもあります。

団

体での部活動には制約が出るなど、できないことも確かにあります。しかし、軽米高校だからできることに目を向ければ、自分の可能性を引き出すことにつながる魅力であふれています。周りのサポートを得ながら、自分の進路実現に向かってチャレンジすることができ、そして一人一人が自分らしさを発揮して輝ける学校、それが軽米高校です。(完)

